

来年度の用水に関する重要なお知らせです

事 務 連 絡

令和 6 年 1 2 月 2 5 日

南遊佐地区関係組合員の皆様へ

日向川土地改良区 工務課

7.25 豪雨災害による宮内揚水機場の被災による 来年度以降のかんがいへの影響について

地域の皆様には日頃より当改良区の事業にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。7月25日の豪雨災害で被災した宮内揚水機場ですが、12月5日災害査定が終了し、公共災による災害復旧が決定いたしました。現在、補助率の引き上げのための増高申請に向けた準備作業に加えて、発注に向けた作業を鋭意進めております。

さて、宮内揚水機場の今後の復旧計画が明らかになりつつある中、来年度以降のかんがいへの影響が避けられない見通しが示されています。日向川右岸地区は総パイプラインによる自然圧方式を採用していることから、令和7年4月26日から始まるかんがい期間開始から地区全域に影響が発生するものと予想しております。

地区全体の2割に相当する水量が不足する見込みのため、全体的な水圧不足が避けられず、代掻きや田植えへの影響が心配されます。改良区では水利権を遵守した上で最大限可能な量を配水いたしますので、地区の皆様におかれましてはご理解とご協力をお願いいたします。

ただし、水量・水圧の不足は慢性的なものではなく、一時的もしくは需要期における限定的な発生を予想しています。それらは、ブロック給水の徹底、時間をかけた給水、定期的な降雨によって解決は十分に図れますので、各自落ち着いて対策や対応をお願いいたします。

[宮内揚水機場の復旧に要する期間（予定）]

令和7年1-2月 災害増高申請・実施設計
～ 令和7年3月 一般競争入札による工事発注（酒田市）
～ 令和7年9月 機器製作据付期間 ※高圧受電設備の製作に6ヵ月程度を要する見込み

(注意) 近年、連休や休日に田植え等を合わせるために水掛けを急ぐ必要がある方がいらっしゃいますが、用水に関する個別対応は行えません。地区全体で問題を共有し、かけ流しは行わずにブロック給水の計画に従った水管理へのご協力をお願いいたします。また、かんがいや復旧に関する情報は適宜改良区のHP等でお知らせして参ります。

宮内揚水機場の復旧に関する質問・回答について

宮内揚水機場の復旧は令和7年度夏頃までかかります

Q なぜ復旧に半年以上もの期間がかかるのか？もっと早くならないのか？

A 高圧受電設備内の機器の製作に約6ヵ月の期間を要するためです。いずれも発注されてからの製作であるため、期間の短縮は困難です。

Q なぜもっと早く対応しなかったのか？

A 激甚災害指定による公共災を活用した復旧を行うためです。国の補助を活用しなければ莫大な復旧費用が受益者の負担となるため、制度を活用した復旧を行うためには、どうしても期間を要します。（災害査定終了：令和6年12月4日）

Q 不足した用水の確保は出来ないのか？

A 取水源である日向川頭首工は水利権によって取水できる上限が決まっています。宮内揚水機場の水利権は排水の反復利用（宮内幹線排水路に排水した水を再度取水）となっており河川能力から算出されていますが、日向川水系には余力が無いいため新たに取水を増やすことは出来ません。

Q 水不足が発生したらどうするのか？

A 管理委員会と協力して臨時的なブロック給水や期間を限定した対応を実施します。降雨があれば解決が図れますので、地域全体で無駄水を無くして必要な方へ回すためのご協力をお願いします。また、干ばつ発生時は排水が不足するため、そもそも宮内揚水機場の送水量も低下します。令和4年度大干ばつの際は、2台中1台しか（かつ大きく絞って）運転出来ない状況の元で調整を行ってきましたが、同程度の対応の必要があるものと考えて下さい。

Q 休みに合わせて田植えをしなければならぬため、用水を供給して欲しい。

A 出来ません。代掻き期間を中心に上記のような苦情が寄せられますが、旧来より個人の事情に合わせた配水操作はしておりません。公平性の観点から個別対応は出来かねますので、ご理解をお願いします。

[1 2 月 2 4 日の会議内で寄せられた質問]

Q 全域に影響が及ぶということだが、遊佐方面の組合員にも連絡をした方が良いのではないか？

A 1月広報に合わせて右岸地区全体に情報を提供いたしますが、要望があれば地区説明会を行っていくことを検討するつもりです。また、地区の皆様が必要とするのは情報と思われますので、来年度は改良区のHPを通じてかんがい状況や河川の取水状況などを定期的に報告するなど、丁寧な対応を行っていくことを検討しています。

Q 不足した分に対してどう対処するのか？

A 大元からの供給、被災していない機場をフルに活用して用水供給を行います。宮内揚水機場の被災によって用水不足は発生しますが、全く水が出ないという状況ではありません。通常よりも時間や日数が掛かるであろうことは予想されますが、状況を見ながら改良区全域を見てより広範囲の中で配水量の調整も可能ですので、通常のかんばつ期と同様に調整で対応して参ります。

また、宮内揚水機場が被災したことによって排水の反復利用が出来ません。かけ流しによる無駄水はそのまま川に排水されることとなりますので、よりきめ細やかな水管理をお願いします。必要分が溜まったら、もしくは水掛けが終わったら次の方に回すために給水栓を止めるという対応が基本となります。

Q 昨年見回りを行った際、宮内集落周辺の圧力が弱いように感じた。対応はどのようにするのか？

A これまで同様に制水弁を活用した配水量の調整を行います。また、長期間に渡っても水が出ないような状況が見られる場合も対応を検討しますので、管理委員会を通じて情報の提供をお願いします。